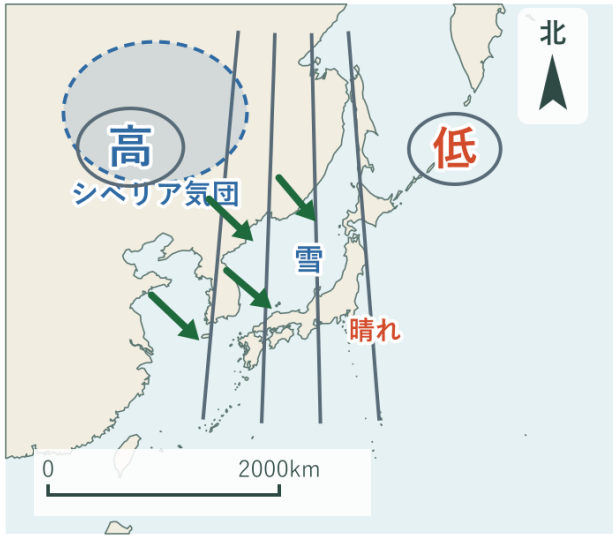
日本の四季の天気図と気団

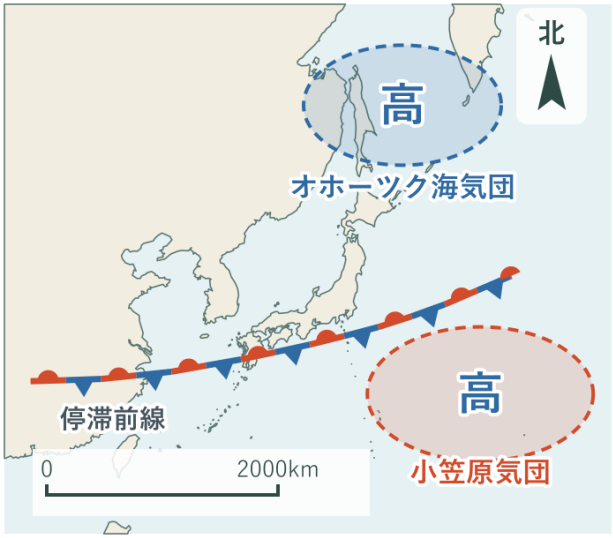
季節ごとの天気のちがいを、気団と気圧配置から考えよう

冬：西高東低（冬型の気圧配置）



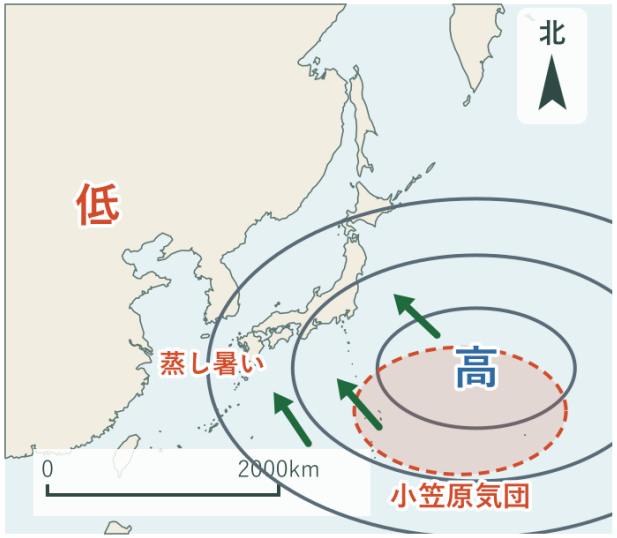
北西の季節風がふく。日本海側は雪、
太平洋側は乾燥して晴れることが多い。

つゆ：停滞前線（梅雨前線）



2つの気団の間に前線がとどまり、
雨やくもりの日が続く。

夏：南高北低（夏型の気圧配置）



南東の季節風がふく。
蒸し暑い晴れの日が続く。

気団の性質は、できた場所の気温と水蒸気の量で決まる（大陸→乾燥、海→しめっている／北→冷たい、南→暖かい）

シベリア気団（大陸・北）
冷たく乾燥。冬に発達

オホーツク海気団（海・北）
冷たくしめっている。つゆ・初夏

小笠原気団（海・南）
暖かくしめっている。夏に発達

※ 天気図は模式。等圧線の数や形、高気圧・低気圧の位置は実際とちがう。停滞前線の記号：▲は暖気側、半円は寒気側に付ける。